



商談会レポートin東京ビッグサイト

— 商談会をどう活用するか? —



◀農事組合法人サンエスファームはアグリフードEXPOへの出展。理事 今村博和氏

↓国内で農業を営む者、食品製造・加工業者、6次化支援技術を提供する事業者などが出展「第11回アグリフードEXPO 東京 2016」(主催:株式会社日本政策金融公庫)



◀(株)あおもり海山はシーフードショーへ出展。取締役営業部長 野呂英樹氏

↓国内外で水揚げされた魚介類、水産加工品、加工機器・設備等を取り扱う事業者などが出展、第18回ジャパン・インターナショナル・シーフードショー(主催:一般社団法人大日本水産会)。



8月18日(木)、東京ビッグサイトで開催された「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」と「アグリフードEXPO 東京 2016」の商談会には、本誌取材先である株式会社あおもり海山さんと農事組合法人サンエスファームさんが出展。取材班は、それぞれにお話をうかがうことができました。

あおもり海山の野呂さんは年数回、サンエスファームの今村さんは年数十回、

商談会に参加しているようです。今回は、お二人とも自費での出展ですが、メリットは大きく、ぜひ活用すべきということで一致しています。ではそのメリットとは何でしょうか。共通しているのは、商談会で成約を得ることは元より、「既存の顧客と直接コミュニケーションができる」「様々な業種の方から商品へのアドバイスを得ることができる」「競合商品に限らず、いろいろな商品との比較ができる」など多くのメリット

がある点です。また、自社商品を第三者に説明することで、会社や商品の魅力について新たな気づきが得られ、スタッフの成長にもつながるというご意見もいただきました。ただし、そのようなメリットを享受するためには、積極的な姿勢で商談会に臨み、常に勉強するという心構えが必要とのこと。お二人とも、今後も積極的により多くの商談会に出ていくとのことでした。

編集後記

沖縄県石垣市の農業生産法人伊盛牧場(代表伊盛米俊氏)は、酷暑の石垣島で工夫を重ねホルスタイン種の酪農を確立させた。その一方で、自社の生乳に島の野菜や果実を取り入れたジェラートを開発、着実に業績を伸ばしている。

島で育った伊盛さんには、若い頃お気に入りの場所があった。八重山の島々を見渡せる小高い丘である。今そこにはジェラートを販売する店舗が立ち、多くの人が訪れるようになった。観光客も増えているが多くは地元の人達だという。地元可愛される商品づくりが伊盛さんの原点であり、その成果がしっかりと根を張り、事業を支えている。

伊盛さんは、6月30日に開催された「第65回全国農業コンクール」(毎日新聞社主催)で、グランプリの「毎日農業大賞」を受賞した。優れた技術による酪農の推進と、何より地域活性化への貢献が評価されたのだ。

編集長 奥野 俊志

6次産業化フリーペーパー
「第6チャンネル」vol.16 (2016年10月発行)

編集人: 奥野俊志
編集・取材: 河原木徹、菅野康子、浦岡伸行、石川千晶、金森真粧美
デザイン: 安野真由美
制作協力: 平成ソフト

第6次産業化ポータルサイト 第6チャンネル

www.6-ch.jp/

6次産業化の取組を支援するポータルサイトとして、これからも情報発信していきます!



フリーペーパーのご案内

本誌のバックナンバーをダウンロードできます。是非ご覧ください。

▼フリーペーパーのダウンロードはこちらから
https://www.6-ch.jp/fp_contact/

▼メルマガ会員登録はこちらから
<https://www.6-ch.jp/melmaga/>

▼第6チャンネルフェイスブック
<https://www.facebook.com/6channel/>

▼農林水産省食料産業局フェイスブック
<https://www.facebook.com/maff.shokusan>

■バックナンバーの印刷物をご希望の方は、第6チャンネル(Webサイト)のTOPページ「お問合せ」より、「詳細」欄に「フリーペーパー希望」とご明記の上、ご希望の号数と送付先、郵便番号をご連絡下さい。送料実費にてお送りいたします。なお、数に限りがございますので、在庫が無いバックナンバーにつきましては、印刷費、送料実費にてご提供いたしますので、ご相談下さい。

